

10月16日 豊橋市畜産防疫対策全体研修会

参加者質疑・回答一覧

	質問内容	回答
1	ハエ等については、ネットを畜舎全体に設置しています。ネズミについては特別な対策はしていないが餌の管理はしっかりしている。施設の改修やトラップ等の道具を用いた方法、薬剤を使用した方法等防除対策を教えていただいたが、一度に行うのは難しい場合どこから手をつけるべきか。	まずはモニタリングを行うべきと思います。具体的には1日の捕獲数、週ごとの捕獲数、月ごとの捕獲数を種別にわけて記録して、その結果を皆さんで検討するようにするとその先に進むと思います。
2	ネズミの殺鼠剤で市販されているもので良く効く物があれば知りたい。	養鶏場ではプロマジオロン（商品名ラニラット）が有効です。
3	・ケージ鶏舎等、クマネズミ対策が難しい場所においてモニタリング等で最初に実施するトラップ（殺鼠剤）の配置はどのような鶏舎の位置にどのくらいの間隔（殺鼠剤を置く間隔）でトラップを仕掛ければいいでしょうか。またどのくらいの期間、最初のトラップを設置しておけばいいのでしょうか。	基本的に目撃の多い場所ですが、天井がある場合には天井裏に置くと埃が堆積しにくいので良いと思います。なお、モニタリングのトラップは埃が堆積するので「毎月1日」とか決めて回収するようにします。それを年で12回繰り返せばその現場の生息密度の傾向がわかります。
4	・トラップは殺鼠剤だけではなく、油や飼料などを混ぜる事例もあるが、どのような混ぜ物があると良いでしょうか。	トラップはそのまま利用し、油や飼料はまぜません。殺鼠剤は嗜好性を調べると良いでしょう。
5	捕獲数の月ごとのグラフ作成のスライドにて、仔ネズミの比率をみると繁殖の程度がわかり、クマネズミは100 g を境目にドブネズミは150 g を境目に比率を見ることを教えていただきました。ハツカネズミについて省かれてましたが、仔ネズミの比率はどのような基準で比率を見えていますでしょうか。	ハツカネズミは小さいので基本的には15～20g以下を幼獣としても、見た目で幼獣は簡単に区別できます。ドブ・クマ・ハツカともにそれほど厳密では無くても良いです。見た目で子供か大人かは区別できると思います。どの哺乳類（ヒトも含めて）も子どもは頭が大人に比べて大きいです。